

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

N o . 283 2025.10.28

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会

「新佛教徒運動の提唱者『求道の師 能海寛』」

A4判カラー版56P 定価1,500円+税

隅田正三著 波佐文化協会刊

本著は、『求道の師』出版以後、能海寛研究会機関誌『石峰』、同定例学習会での発表、雑誌類への寄稿した文献を集大成して、能海寛生誕150年の記念する年に改定版の形で、「新佛教徒運動の提唱者『求道の師能海寛』」と題して、発刊したものです。

内容は、明治21年4月8日にE.C.S(英文会)を組織し、週刊機関誌『NEWBUDDHIST』(新佛教徒)を発行。23年には、上京し、月刊機関誌『Wisdom and Mercy』(知恵と慈悲)を発行。

古河勇と同居自炊で「木石書院」と名付けて、新佛教徒運動を進める。慶應義塾で「土曜会」設立に参画する。哲学館へ転学後の25年4月8日に「釈尊降誕会」の組織に尽力する。

26年4月、『純正哲学自解』を表す。26年11月、『世界に於ける佛教徒』を自費出版する。27年12月に、古河勇が立ち上げた「經緯会」にも参画し、31年4月まで、会務運営に影響を与えた。31年11月チベット巡礼探検行以降は、中国大陸を12,000km踏破し、聖地巡礼、サンスクリット經典入手し、經典の翻訳に尽力した。わずか33年間の生涯に「宗教学」の集大成を目指した。これらの内容は、能海寛関係資料3,000点に基づき記述したものです。



【詳細目次】

1.生い立ち 2.向学心に燃えて 3.京都・普通教考時代 4.慶應義塾時代 5.哲学館時代 6.チベット探検の具現化を目指す 7.高嶋でのべき地教育の試み 8.婚約・新婚時代 9.探検への旅立ち 10.第一次探検(川藏公路コース) 11.仏典の翻訳に業績 12.第二次探検(青海公路コース) 13.第三次探検(雲南コース) 14.「新佛教徒運動」の推進 15.能海寛の横死情報を巡って 16.顕彰活動の推移 17.「能海学」として後世へ伝える。その他、能海寛略年譜・参考文献など掲載。

※ ご注文いただいた書籍は、現品到着後に郵便振替にて代金を払い込みください。

なお、送料は実費を申し受けます。

ふるさと図書のご注文は下記へお申込みください。

〒697-0211 島根県浜田市金城町波佐イ394

波佐文化協会

TEL／FAX (0855) 44-0010

郵便振替01490-9-285

E-mail:bunka@hazaway.com